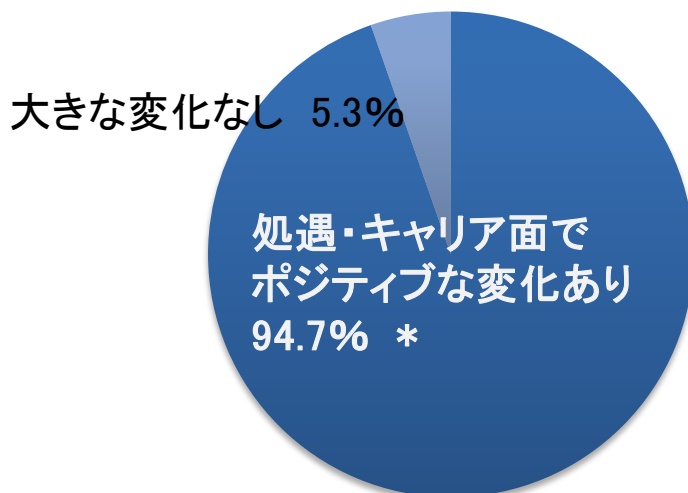


1. 入学時～現在の処遇・キャリア上の変化

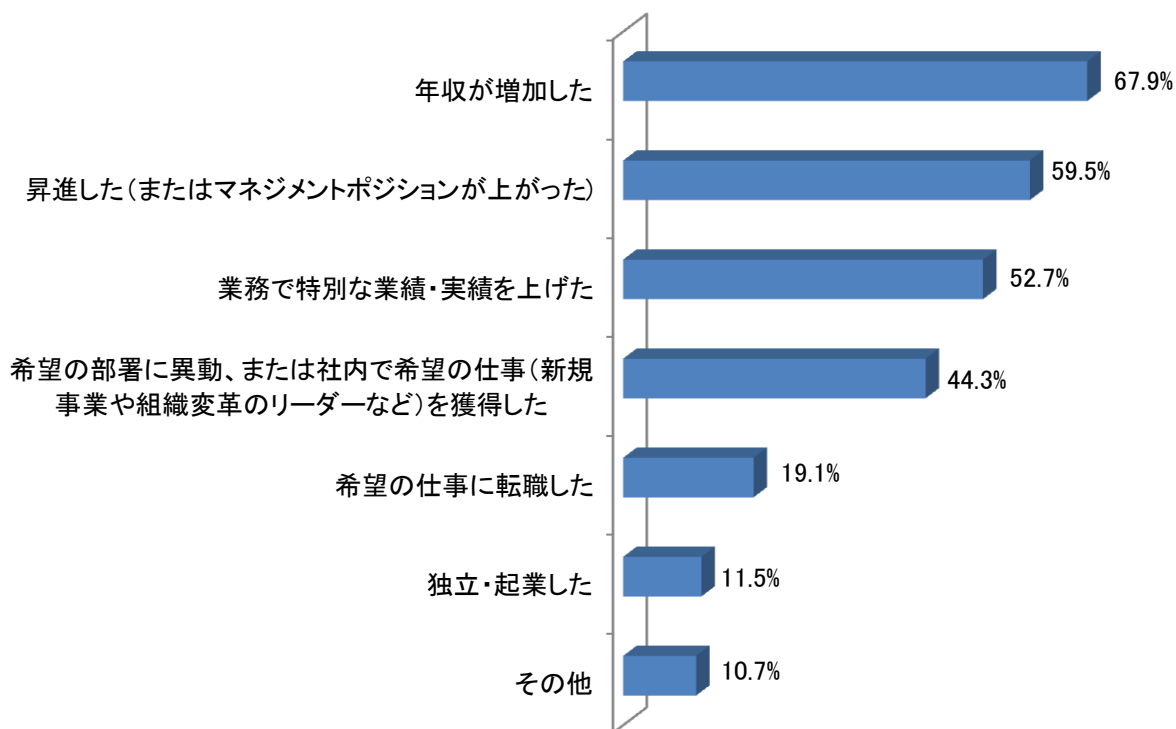
本校卒業生の94.7%が、キャリア上で処遇向上や業績などの変化の他に、希望の転職・異動、独立など希望のキャリア開発を実現した人も多い。

図表1: 処遇・キャリア上で良い変化があったと回答した人の割合



*注: 以下質問での回答者のうち、「大きな変化なし」のみを選択した人を除いた割合。

図表2: 入学時～現在で得られた、処遇・キャリア面での変化（複数回答可）*

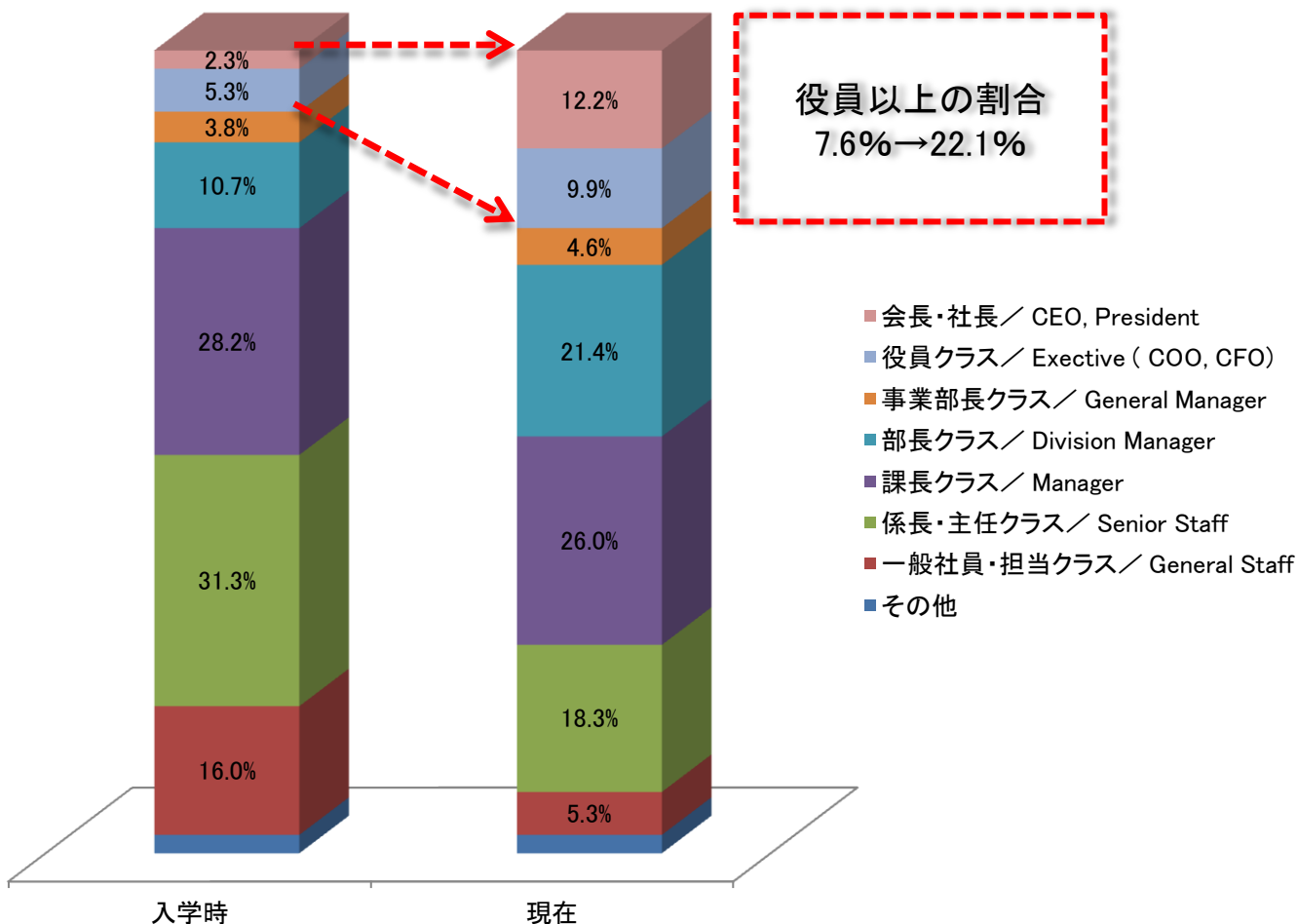


*注: パーセンテージは回答者全体を母数とした比率。

2. 役職クラス、年収の変化

入学時と比べ、全体的に、より上位の役職クラスの比率が高くなっている。特に役員クラス以上の割合は7.6%から22.1%に上昇。各企業において「創造と変革の志士」として活躍している様子がうかがえる。また年収は回答者平均で25%の上昇、特に2007年以前の卒業生については49%の上昇であった。

図表3 役職クラスの変化



図表4 入学時の年収と現在の年収の変化率 *

回答者全体平均	125.90%
2008年3月～2010年3月卒業生平均	122.10%
2007年3月以前の卒業生平均	149.10%

*注: 有効回答から算出。入学時の年収を100%とする

3. キャリアの変化・活躍事例

社内での昇進・実績・異動、転職、独立・起業など、学んだ成果を実務で発揮し評価されている例が多数あがった。

入学～現在のキャリア変化・実績の事例

研究プロジェクトで考えた戦略を卒業後に仕事で実践し社長賞を受賞。その後、部内異動で課長に抜擢された。(Sさん 東京校2007年卒)

マネジメントスタイルや自分の発するメッセージ、資料に対して経営陣が評価くれるようになり、2年半前に経営企画部に配属になり、今年の4月に今のポジションに配属になった。(Hさん 東京校2010年卒)

卒業を機に、コンサルティング関係の部署に異動しました。MBAを取得したことがパスポートになったと思います。その後現在の部署にて、経営マネジメント分野で経営者様に変革をご支援する仕事につくことができました。現在はセミナー講師なども行っています。(布施敬さん 東京校2010年卒)

事務所以外に、グロービスで一緒だった人と会社設立しました。まだまだ、大変な状況ですが軌道に乗りつつあり、自分のこれからの人生をかける事業と考えています。あと、グロービスのつながりが元でもともと実家で小規模にやっていた不動産賃貸業を自分の新会社の業務として、大きく成長させることが出来ました。こちら、グロービスで習得した知識が非常に活かされました。グロービス入学時の思い＝「勉強したというだけで終わらせない。具体的な成果を残す」ということを実現でき、そういった出会いと機会を与えていただいたことを非常に感謝しています。(Oさん 大阪校2009年卒)

グロービスでの学びを活かし、新規事業を提案。取締役会および親会社より承認を受けスタート。その実績を買われ、コンサルティング会社へ転職。(古津 慶典さん 東京校2009年卒)

グロービスの研究プロジェクトで起業の志、スタイル、起業最適分野の見極め、起業パートナーをつけることができた。今振り返ると右往左往はしたが、そこで作り上げた起業プランに近い形で起業できた。サラリーマンをやりながらパートナーとともに事業の可能性探り、ただ単にレポートでまとめるのではなく実際に営業・商品調達に行ったり、資金調達も試み出したり、韓国の展示会にも出展した。研究プロジェクトの期間も併せ、5つの事業を2年かけて行った。6つ目の事業でようやく少し芽が出て、昨年度は売上3000万円を超えた。サラリーマンとの二足のわらじで、借金を作ることなく独立するかたちになった。(Hさん 大阪校2009年卒)

自然エネルギー関連ベンチャー(太陽光発電)に転職し、ソーラー発電機のレンタル事業で企画・マーケティングを担当するようになった。先期比で売上を3倍まで成長させ、事業部のマネージャーに先日任命された。(ネクストエナジー・アンド・リソース株式会社 SI営業本部 レンタルチーム チームリーダー 中野哲平さん 東京校2010年卒)

当初は海外営業を担当していたが、新規事業・ベンチャー投資を行う部門への社内公募があり、審査のうえ配属された。経営やファイナンスに関する基本的知識を習得していることが評価された。(ブラザー工業株式会社 NID開発部 主任 三浦哲さん 名古屋校2010年卒)

新規研究テーマの立ち上げとその初代リーダとしての取り組み。クリティカルシンキング、マーケティング、経営戦略や、様々なケースにより、研究所での立場ながら、事業の立場で欲しいと思うプロダクト、技術を考え、それが事業で受け入れられた。(Nさん 東京校2008年卒)

自分の更なる成長に向けて戦略コンサルティングファームへの転職を実現させた(株式会社ローランド・ベルガー 野本周作さん 大阪校2010年卒)

①不振事業の再建。25億、赤字だった事業を40億に成長させ、黒字化させた。市場での地位も向上させたこと。②現在立ち上げ中の事業が1年で単月1億の売上に育てたこと。(Oさん 東京校2007年卒)

事業経営を学び準備していたこともあって、希望の海外事業部に異動できた。(Iさん 東京校2010年卒)

4. 当校カリキュラムの「役立ち感」

授業・科目、人的ネットワーク、志の醸成が、それぞれキャリアや業務に役立っているという実感が多く寄せられた。

Q:ご活躍、実績、変化には、グロービスMBA在学中の何がどのように役立っていたと思いますか？①授業・科目/②人的ネットワーク/③志の醸成 の視点で挙げてください。（選択回答）

①授業、科目

創造系・変革系の科目では、それまでに学んできた人・物・金の知識を全て活用して事業計画をまとめる課題があるので、実務で事業計画を立案するときにその経験が大変役立った。例えば、事業計画のコンテンツを何にするか、コンテンツの中身を作るのに何を調べなければならないかなどグロービスで何度も経験していたので、素早くまとめることができた。そのため、中身を作るための調査や分析に集中して時間を割くことができた。（中山裕司さん 名古屋校2010年卒）

ベンチャー戦略⇒ビジネスモデルの枠組みをどう作るのかを実践的に習得し、新たな事業モデルの起案の説得性、実施時の実現性が高まった。消費財マーケティング⇒webプラットフォーム起案の枠組み・イメージに役立った。これを受講していなければ出てこない発想だった。経営戦略Ⅱ（イノベティブ・ストラテジー）事業モデルの成長エンジンの構想に役立った。実際学んだフレームで新事業の事業モデルを作成し、実施した。（コープネット酒類販売株式会社 代表取締役 社長 内田一樹さん 東京校2008年卒）

ケーススタディによる実践的ビジネススキルの修得。環境の変化と打ち手の80%が想定、理解の範囲であった。（東急リバブル株式会社 経営企画部 経営企画部長 太田陽一さん 東京校2009年卒）

ケーススタディや講師・クラスメンバーとの議論を通じてゼロベースからの思考力、仕事を自ら獲得し切り開くマインド・他人を巻き込む突破力を体系的に理解し磨きをかけることができた。（草野泰和さん 東京校2005年卒）

経営を学ぶためにグロービスに入学したのですが、気が付いたら「人間」というものを学んでいました。結局、人間が動くとはどういうことか？を身をもって学ぶ事ができました。リーダーとして人を巻き込む上で必要とされる情理と合理。全ての講義、全ての出会い、全てのイベントがこの学びにつながっていました。まさにグロービスは私にとって人間形成の場でした。（Kさん 名古屋校2010年卒）

基本的にはあらゆる科目が関与しており、特に変革系は実務の中で社員・関係部署の反応を予測する際に今でも役にたっている。個人的には、リーダーシップや経営道場などの志系はグロービスで良かったと感じさせるものだった（GEヘルスケア・ジャパン株式会社 マーケティング本部 マーケティング企画部 企画部部長 伊藤浩孝さん 東京校2009年卒）

・実務的には思考系の科目がすべて役に立った。結局何が課題で、論点は何で、自分はどう結論付けるのか。そして、それをどう伝え、どう進めていくかという基礎筋力は、すべてのベース。
・経営者の視点や会社の戦略が当初全く分からなかったが、自社が何を目指し、何で戦い、今社長がなぜこの方針を出しているのかが理解でき、今自分がメンバーに何を伝えるのか分かるようになった。
・サービスのマネジメント、ベンチャーマネジメントなど、サービスでは何を考えるべきか、ベンチャーとして成長していく自社では次にどんな痛みがでてくるのかなど、考えるべき視点が得られたのは非常に役に立った。（Tさん 東京校2008年卒業）

知識として全て役立った。また、異なる立場、部門の意見を纏め上げる際には、授業でのケーススタディやグループワークの経験が間接的に参考となった（田辺三菱製薬 経営企画部 主席 田中智さん 大阪校2008年卒）

②人的ネットワーク

これは、むしろ卒業後の今、強烈に効いています。何かというと、私的コンサルタント集団に相談しながら、コトを進めることが多いので。(プラス株式会社 マーケティング本部 執行役員 本部長 伊藤羊一さん 2010年卒)

過去の職歴を捨てて新しい職務に挑戦するにあたって、自らの気持ちにGMBAのクラスメートの体験やクラスでの議論が支えになって一歩が踏み出せた。(旭硝子株式会社 佐藤秀一さん 東京校2009年卒)

業種、業態の違う分野の仲間と本音で話す機会を持てたことで企業の本質的な課題を発見する力が付いた。(株式会社スマイルマーケティング 代表取締役社長 高橋健三さん 大阪校2006年卒)

使命感を持って活躍されている人々との出会いを通じて、人生の中でのキャリアへの捉え方により良い刺激を受けた。そして、お互いに高め合っていくという繋がりを通じて、己の使命感を支える価値観をもより強く醸成できたことに心から感謝している。(佐々木聡さん 東京校2008年卒)

超人的な講師、共に学んだ仲間、すべてが私にとって刺激であり、成長の糧でした。レベルの高い集団に属することで、自分自身の“当たり前”に変化があったように思います。(Sさん 大阪校2010年卒)

事業の売却、整理に際しては、講師陣の助言。新規事業の模索・立ち上げにおいては、同窓生とのコミュニケーションが大いに役立っている。(Mさん 名古屋校2010年卒)

在学中はもとより、卒業後も互援ネットや課外活動などを通して、講師やGMBA生から良い刺激をもらって切磋琢磨できている。(東京海上日動あんしん生命 営業開発部企画開発グループ&関東営業支援室&北関東甲信越営業支援室 課長 黒田哲也さん 東京校2009年卒)

さまざまな業界で活躍するリーダーの方と直接話すことができ、自分とのGAPを感じる事ができた。自分の進む目標、方向性ができた。(Mさん 大阪校2010年卒)

入学前に受講していたクリシンの仲間と今でも交流を持ちながら各々の成長を支え合っていること、また、卒業後の互援ネットで各々が持つ深い悩みなどを共有しながら支え合っていることは私にとっては非常にありがたい。昇進すればするほど社内では悩みを相談する相手が減る気がしているので、利害関係のない人たちと交流を持ちながら支え合っていることは本当に嬉しく思っている。(Hさん 大阪校2009年卒)

あすか会議によって、学びや仕事とは違う環境で、俯瞰して自分の現在とこれからを考える機会を得た。(Tさん 東京校2009年卒)

③志の醸成

志を意識して考えるようになり、転職の決意ができた。その後も志を軸にして考え、行動することにより、周囲からの信頼や協力が得られ、何より、自分の中での判断がしやすくなった。(オムロン株式会社 グローバル人財戦略部 グローバル人事グループ長 吉原聖子さん 大阪校2010年卒)

自分が社会に対して最も貢献できることは何かを深く考える過程で、やるべきことがクリアになった。また、同時にやり遂げられるという自信ができてきた。これによって、これまでの自分の業務範囲(R&D)を超え、顧客開拓、事業企画等新しい業務にチャレンジできるポジションと権限が得られた。(ソニー株式会社 コアデバイス開発本部 フォトニクス開発部、VPS事業部 企画マーケティング部(兼務) シニアマネジャー 武川洋さん 東京校2008年卒)

企業家リーダーシップ、経営道場などの機会を経て自分の志を醸成しつづけたからこそ、今の自分があると思っている。でなければ、今の活動の意義を見いだせず、辛くて投げ出してしまうこともあったかもしれない。(Sさん 東京校2009年卒)

グロービスで学び、日本人として日本に何が出来るのかを常に考えるようになった。今はシンガポールで仕事をしているが、確実に視座が上がったことを実感している。(AstraZeneca Singapore Pte Ltd, Regional Medical Affairs Director Asia Pacific 大山尚貢さん 大阪校2010年卒)

・自分は、何者かという「内省」の時間が持てたことは貴重でした。・ある意味「経営者養成学校」ですから、テクニカルな部分は大事です。でも、それ以上にマインド・セットを醸成するする「グロビ風」は、大事なエッジだと思います。・2年間で、「立ち位置」を変えるマインドを作る。フォロアーからリーダーへ、自分の立ち居地、振る舞い、思考を変える大事な時間と思います。(Aさん 東京校007年卒)

■「チャンスに備えて準備をする」という点では自分の成長を考え、何かに取り組むモチベーションとなった■それが故に、自分がグロービスに通い始めた頃の「行き場のないモヤモヤ感」を払拭できたと思う (日本ガイシ株式会社 人事部採用グループ グループマネージャー三代川正さん 名古屋2010年卒)

「可能性を信じる」を思い出し、最後まで考え抜き、行動できた。(Wさん 名古屋校2010年卒)

GMBAで志を落とし込んだことが、今の自分の全てに通じる。生きる意味と社会への発信という根源的な認識を持つようになった。(上尾中央医科グループ協議会 総務人事本部 人財開発部 人財開発部部長 渡邊百合子さん 東京校2008年卒)

最終的なゴールを見失わなければ、強い・折れない意志を持って仕事に取り組むことができる。田久保さん、鎌田さん、船川さん他講師から教えられた、「覚悟」。多少のことでは、動じなくなった。セルフコントロールが以前よりうまくできるようになった。(Iさん 大阪校2010年卒)

5. 当校プログラムの価値

当校のプログラムの主観的な価値を振り返っていただいたところ、知識・スキルだけでなく、人間力、信念を高める、社会性、可能性を信じるなど、ビジネスリーダーとして生きる上での姿勢、自分の理解、視座の高まり など内的成長に言及した内容も多かった。

Q: あなたの人生にとって、グロービスMBAプログラムとは、何だったと思いますか？(または、あなたにとってどんな場・時間・価値があったのでしょうか？)

ドロドロとした「現場」で戦うための装備を装着して、それを使うための考え方を学び、考え抜く力をつける場所。
(Kさん 大阪2009年卒)

生きるというのは、一瞬一瞬を選択していくことだと思います。私がそうであったように、女性にとって30歳前後というのは、いくつかの大きな分岐点を迎える時期ですよ。
あの時に意を決して単科生のドアを叩かなければ、仕事も、仲間も、その他の環境も、まったく違う自分であったと感じています。ここは、ゆるやかな現状維持と、可能性を信じて階段を上るという二択があったとき、後者を迷いなく選べる強さを得ることが出来た場でした。(松永みち子さん 東京校2010年卒)

知識と人間力を磨く上で最高の道場と考えます。(Mさん 大阪校2010年卒)

グロービスに行っていなかったら、今のポジションや能力は確実に身につきませんでした。現在も成長を猛スピードで成長できているのはグロービスのおかげです。思考スピードは、体感で数十倍～百倍というレベルで早くなりました。それが、今の意思決定のベースになっています。行っていなかったときのことを思うとぞっとします。(プラス株式会社 マーケティング本部 執行役員 本部長 伊藤羊一さん 東京校2010年卒)

・在学中は「学ぶ」ことに夢中でしたが、振り返ってみると、「自分自身を考える時間」だったような気がします。・特に、Will、変革系に入ってくると、どこまで自分はやれるのかと「対話」していました。・「畳の水練」をし、「知識」を蓄え、「内省」を通じて自らと対話し、「立ち居地」を再発見した時間でした。(Aさん 東京校2007年卒)

人生経験の先取りの場であったと思っています。挫折、時間の使い方、組織リーダー、経営者としての心構え、引き出しを経験することができ、人生の時間を有効に活用できていると感じている。(Yさん 東京校2010年卒)

経営の基礎を学びながら、経営以外についても「学び方を学んだプログラム」でした。共に成長する生涯の仲間を得た場でもあります。(Yさん 大阪校2007年卒)

自分のやってきたことへの信念を強めてくれたし、考える引き出しを大きく増やしてくれた。人生に大きなやる気を与えてもらった。(シマンテック株式会社 代表取締役社長 河村浩明さん 東京校2010年卒業)

自分という人間に興味をもって知ることができた。目標がなかった人なので、目標を立てることの重要性を知り、今ではそれを指導する側になれたことが最高の価値である。(ワカセイ・コーポレーション 代表 二宮歌浩さん 名古屋校2010年卒)

仲間が増え、可能性を信じてチャンレジしたい気持ちになった場所 (ナノフoton株式会社 代表取締役 中原林人さん 大阪校2008年卒)

会社が揺らいでいる大変な時期でしたが、会社が無くなったとしても、正しい道に対して、自らの足で進んでいくことの勇氣と力をくれたプログラムだったと思います。互援ネットで、心の健全度を養っている。(Tさん 東京校2009年卒)

人生のあり方を変えてくれたプログラム。今まで見えなかったものが見えるようになり、色々なことを考えるようになった。(Yさん 東京校2010年卒)

・世界観が変わる場所: 通う前の前職において、社長や経営陣が話す内容や背景が今一つ理解できていなかったが、それが理解できるようになり、視座が高まった。今まで見えてこなかった世界観が見えるようになってきた。
・志を明確にできた場所: 自身の志を初めてここまで明確にできた。グロービスでのこの時間が無ければ今の自分の職種は無いし、今後目標とするキャリアも無い。人生において非常に大きな転機となった。(アクセンチュア株式会社 戦略グループ コンサルタント 古元直洋さん 東京校2010年卒)

<調査概要>

■調査実施日:2011年10月28日～2011年11月13日

■対象者:グロービスオリジナルMBAプログラム(グロービス経営大学院前身プログラム)、
およびグロービス経営大学院を2005年3月～2010年3月に卒業した方全員 326名

■調査方法:インターネットにて

■回答者数:131名(回答率40.2%)